

男子力！ それは永遠の少年力！

変顔、ドヤ顔、死んだふり。おバカで不敵、つるんで悪ノリ。
目も当てられないおバカな男子たちに、つける薬なし。
でもあなたはきっと噴き出す。
愛すべきは剽軽男子。
そんな男子の魅力を梅佳代さんのカメラが見事にとらえます。

書名：男子 著者：梅 佳代

おすすめする人：白木 典子

だめな自分も失恋も俳句に詠めばブンガクだ

私の人生って平凡だと思っていたけれど、俳句を詠むために自分という
人生の主人公になり切れば、途端にドラマチックに見えてきた。恥ずか
しくて隠れてしまいたいような事も俳句にしまえば全てが良い思
い出となる。俳句マジック。人生全ての想いを俳句にしまおうと思
える本。

書名：芸人と俳人 著者：又吉 直樹・堀本 裕樹

おすすめする人：牧村 幸

人生って、それほど悪いもんじゃないぞ。

「月曜日の朝は、死にたくなる。水曜日の朝は、一番しんどい。土曜日
の朝は、一番幸せ」この歌に少しでも共感できる人、ぜひ読んでくださ
い。ブラック企業で働きこの歌のような一週間をループしていた隆。心
身共に衰弱しきっていた時「ヤマモト」と名乗る男に助けられる。社会
で戦うすべての人に勇気を優しさで癒します。

書名：ちょっと今から仕事やめてくる 著者：北川 恵海

おすすめする人：玉置 奈那

あなたは生きるために何を消しますか？

30歳の郵便配達員は余命あとわずか。そんな時彼は悪魔に出会う。そ
の悪魔は何かを消すかわりに自分の命を1日得ることができるという。
彼は物を消していくうちに物の大切さに知ることになる。

書名：世界から猫が消えたなら 著者：川村 元気

おすすめする人：伊藤 美咲

彼岸花が咲き、ごんが来る。今日 秋分の日

彼岸花が、あまりに 似合う物語・作家 新美南吉の故郷 愛知県半田市の郊外は、この時期、一面 彼岸花に 覆われる。貧しい村人 兵十と里山に棲む 独りぼっこのいたずら小狐 ごん。この人間と狐の温かくも 哀しい結末の話・幼心に、強く 余韻を 残す。絵本には、必ず 赤い彼岸花。今日、わが街にも 無数の彼岸花

書名：ごん狐 著者：新美 南吉

おすすめする人：樋口 邦子

言葉じゃくなくても通じあうもの

この本は、父の転勤でアメリカの小学校へ転校することになった主人公の物語です。英語もあまり話せず、友達もできなかった主人公が森の中で一人の少女と出会います。その少女は物語の中で一度も主人公と話すことはありませんが、互いが言葉じゃなくても通じ合っていることがわかる本です。

書名：心の森 著者：小手鞠 るい

おすすめする人：和田 峻平

あなたの言葉一つで人の人生が変わります

あなたはその言葉に責任を持てますか。この作品の黒幕は、世界各地で「虐殺の文法」を使って、戦争を起こして回っています。つまり、人は、言葉で戦争を起こしてしまえるほど、言葉というのは人に行動を起こさせる起爆剤になりえます。自分の言葉をもう一度省みるためにも、この作品を読んでみませんか。

書名：虐殺器官 著者：伊藤 計劃

おすすめする人：藤井 拓海

偉大だった我らの父は帰らぬ狸となりました

京都には三種の生き物がいる。「人間」、「天狗」、そして「狸」。その狸の名門、下鴨家当主が人間により狸鍋にされてしまった。残された四兄弟の三男、矢三郎は父の残した「面白きことは良きことなり！」の言葉を胸に、今日も人間、天狗、狸と関わりながら、勝手気ままに京都の街を駆けめぐる。

書名：有頂天家族 著者：森見 登美彦

おすすめする人：葛西 千奈美